



ダイヤル錠タイプ

※ 出荷時は F I X 【固定番号】 の【0000】番に設定してあります。
使用方法を決めて、暗証番号を設定してご使用ください。

F I X 【固定番号】方式：暗証番号を再設定するまで、同じ番号で施錠・解錠できます。
F R E E 【自由番号】方式：施錠時、任意の暗証番号を入力して使用できます。

● F I X 【固定番号】・F R E E 【自由番号】の切り替え方法

F I X 【固定番号】⇒F R E E 【自由番号】	F R E E 【自由番号】⇒F I X 【固定番号】
① 今まで使用していた暗証番号をダイヤル表示してください。 出荷時は【0000】番に設定しています。 ② ツマミを  の位置にしてください。 ③ 錠前の裏側にある【切替え】をマイナスドライバー等で90°左に回し、溝を横にしてください。	① ツマミを  の位置にしてください。 ② ダイヤルを回転させてお好きな暗証番号を設定してください。 ③ 錠前の裏側にある【切替え】をマイナスドライバー等で90°右に回し、溝を縦にしてください。 (これで固定の暗証番号が設定されました)

● F I X 【固定番号】の暗証番号変更方法(再設定)




F I X 【固定番号】の暗証番号を変更したい場合、一度 F R E E 【自由番号】に切り替えてから新しい番号で F I X 【固定番号】に切り替えてください。

F I X 【固定番号】⇒F R E E 【自由番号】⇒F I X 【固定番号】

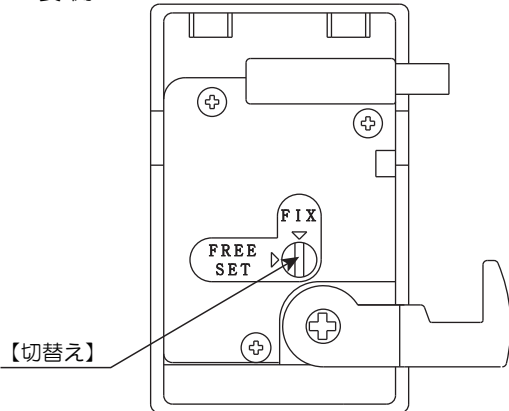
⚠注意

F I X 【固定番号】から F R E E 【自由番号】の切り替え又は F I X 【固定番号】の暗証番号の変更時は、必ず今まで使用していた暗証番号をダイヤル表示してから行ってください。
⇒暗証番号以外の表示で切り替えると、ツマミが回らない等のトラブルの原因となります。

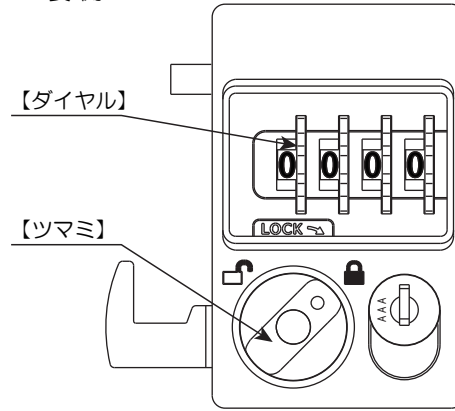
● 鍵のかけ方・あけ方 (F I X 【固定番号】 F R E E 【自由番号】とも操作は同じです)

鍵のかけ方	鍵のあけ方
① ツマミを  の位置にして暗証番号に合わせてください。 ② ツマミを  にして番号を乱すと施錠されます。	① 暗証番号に合わせてツマミを  に回すと解錠できます。 ② F I X 【固定番号】の場合、開錠後番号を乱してください。

<裏側>



<裏側>





⚠注意

- この錠前はダイヤルによる数字組み合わせ錠です。
他人に偶然開錠される可能性がありますので、貴重品等の保管はしないでください。
- この「ダイヤル錠の使用方法」をよくお読みになって、正しく操作してください。
⇒誤った操作や無理な力を加えると故障の原因になります。
- 屋内で使用してください。又ぬれた手で操作すると錆による故障の原因となりますのでご注意ください。

※暗証番号を忘れた場合

暗証番号を忘れた場合は検索キーで暗証番号を読み取ることができます。
非常検索キーは別売です。くわしくはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

● 故障かな?と思ったら

- 「設定した暗証番号で解錠できない」
⇒非常検索キーで設定番号を調べて、もう一度「鍵のかけ方・あけ方」手順の操作を確認してください。
- 「ツマミを  から  に回せない」
⇒錠前の裏側にある【切替え】を F I X 【固定番号】に合わせて、非常検索キーで設定番号を調べてください。
問題が解決しない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。(非常検索キーは別売です)

南京錠対応タイプ

● 市販の南京錠を取付できるタイプです。(南京錠は付属していません)

南京錠はサイズ40mmのご使用を推奨いたします。

但し、ツル長タイプやツルの形状が特殊なタイプには、ご使用できません。

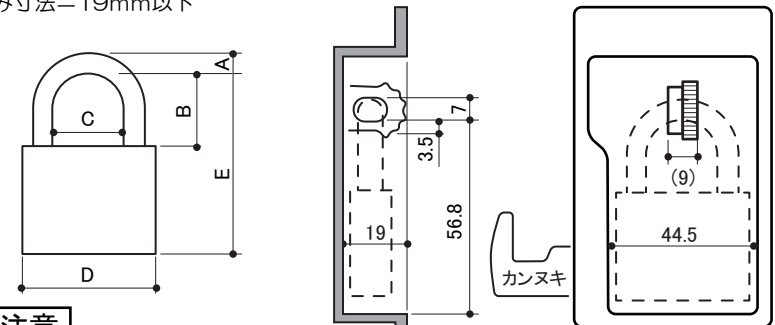
40mm以外の場合は下図寸法条件を参考に、使用できる南京錠を選定してください。

ダイヤル型錠(番号合わせ錠)はメーカーによって色々なものがありますので、下図寸法条件を参考にしてください。

また、ダイヤル型錠(番号合わせ錠)の構造または取付方法によっては、番号合わせ面が表にならないものがあります。

- ・A寸法=6.5mm以下(細いとカンヌキのかかりが浅くなり、こじあけに弱くなります)
- ・B寸法=10mm~24mm
- ・C寸法=10mm以上
- ・D寸法=44mm以下
- ・E寸法=56.5mm以下
- ・厚み寸法=19mm以下

※D・E・厚みの範囲を超えると取っ手から出っぴりますが取付できるものもあります。



⚠注意

ダイヤル型錠(番号合わせ錠)は数字による組み合わせ錠です。
⇒他人に偶然解錠される可能性があります。

ボタン錠タイプ

※出荷時は【固定】方式の【0】番に設定してあります。使用方法を決めて、暗証番号を設定してご使用ください。

【固定】方式：暗証番号を再設定するまで、同じ番号で施錠・解錠できます。

【自由変換】方式：施錠時、任意の暗証番号を入力して使用できます。

● ボタン操作について

暗証番号として使用できるボタンは【0】～【9】と【#】の11種類です。

ボタンを押し間違えた場合は【C】ボタンを押して一旦クリアしてください。

暗証番号を押す順番は関係ありません。【1】【2】【3】も【3】【2】【1】も同じです。

押したボタンは凹んだ状態を保持するため、番号の重複はできません。

● 【固定】・【自由変換】の切り替え方法

【固定】⇒【自由変換】	【自由変換】⇒【固定】
① 今まで使用していた暗証番号のボタンを押してください。出荷時は【0】番に設定しています。	① ツマミをOPENの位置にしてください。
② ツマミをOPENの位置にしてください。	② お好きなボタンを押して暗証番号を設定してください。
③ 錠前の裏側にある【切替え】をマイナスドライバー等で90°右に回し、溝を縦にしてください。	③ 錠前の裏側にある【切替え】をマイナスドライバー等で90°左に回し、溝を横にしてください。(これで固定の暗証番号が設定されました)

注意:【切替え】の操作穴より幅が大きいマイナスドライバー等は使用しないでください。

● 【固定】の暗証番号変更方法(再設定)

【固定】の暗証番号を変更したい場合、一度【自由変換】に切り替えてから新しい番号で【固定】に切り替えてください。

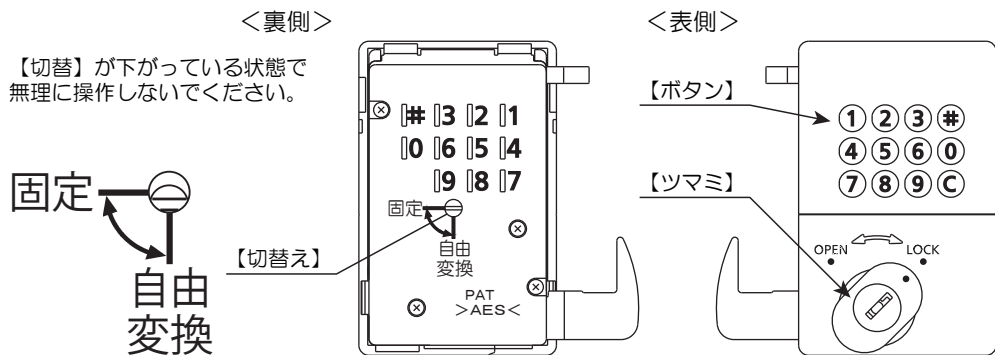
【固定】(旧番号)⇒【自由番号】⇒【固定】(新番号)

● 鍵のかけ方・あけ方【自由変換】

鍵のかけ方	鍵のあけ方
① ツマミをOPENの位置にしてください。	① 鍵をかけたときに設定した暗証番号を押してください。
② お好きなボタンを押して暗証番号を設定してください。	② ツマミをOPENの位置にしてください。
※何もボタンを押さないとツマミは回転しません	
③ ツマミをLOCKの位置にしてください。	

● 鍵のかけ方・あけ方【固定】

鍵のかけ方	鍵のあけ方
① 設定している暗証番号のボタンが凹んでいることを確認してください	① 設定している暗証番号を押してください。
② ツマミをLOCKの位置にしてください。	② ツマミをOPENの位置にしてください。
	※ 解錠後、押したボタンは凹んだまま残ります。



⚠ 注意

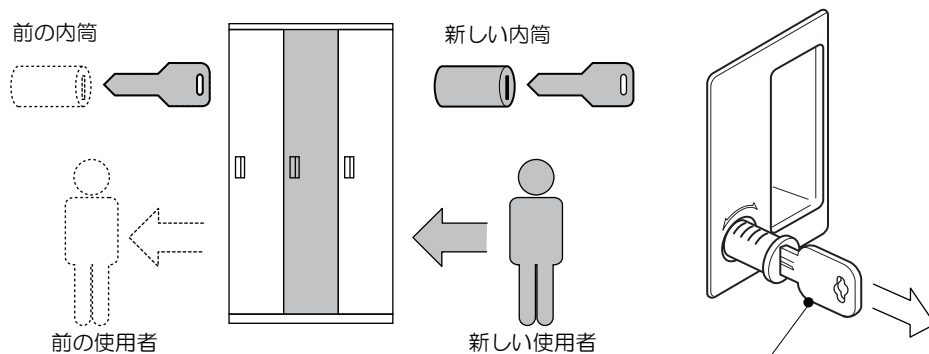
- ① この錠前はボタンによる数字組み合わせ錠です。他人に偶然解錠される可能性がありますので、貴重品等の保管はしないでください。
- ② この「ボタン錠の使用方法」をよくお読みになって、正しく操作してください。
→ 誤った操作や無理な力を加えると故障の原因になります。
- ③ 屋内で使用してください。又ぬれた手で操作すると錆による故障の原因となりますのでご注意ください。

※暗証番号を忘れた場合

暗証番号を忘れた場合は非常開除キーで扉を開けて暗証番号を確認することができます。非常開除キーは別売です。詳しくはお買い求めの販売店へお問い合わせください。

内筒交換錠タイプ

- 鍵の紛失や使用者が変わった場合、シリンダー内筒を交換できます。(鍵は1本付属しています) 以前の鍵では使用できないので防犯性が向上します。
- ※ 内筒を交換する場合は、交換用マスターキーで交換してください。
- かけ忘れ防止仕様なので、施錠しないと鍵が抜けない構造になっています。
- マスター仕様なので、開閉用マスターキーで解錠することができます。



※ 交換用マスターキーを鍵穴に差し込み解錠位置に回すとシリンダー内筒を交換することができます。

※ 交換用内筒(鍵1本付き)、開閉用マスターキー、交換用マスターキーは別売です。

事前にお買い求めいただくと、必要な時すぐ対応できます。

※ マスターキーは必ず管理者が保管してください。マスターキーは2種類あります。

マスターキーの種類	① 開閉用マスターキー：すべての扉が開閉できます。(開閉用マスターキーでは錠の内筒を交換することはできません)
	② 交換用マスターキー：すべての扉が開閉できます。また、錠の内筒を交換することができます。